

(案)

分野	環境	「目指すべきまちの姿」に進んでいくための基本的な方向性など(C欄)	
<p>現状と課題(A欄)</p> <p>(現基本構想の進捗検証・評価)</p> <p>○この10年間の取組については、住宅都市という特性を踏まえ、総じて評価できる。 ○総合計画の施策においては、ソフト面での取組が少ない。 ○ごみ減量の取組は、他区と比べて区民一人1日当たりのごみ排出量も少なく、取組が進んでいる。(一方で、多摩地区の方が住民の意識はより高いのではないか。) ○食品ロス削減の取組や家庭の廃油回収等は、よいスタートが切れている。 ○市民農園や農業体験はよい取組である。</p> <p>(今後の社会環境や区民生活・意識の変化等の新たな視点)</p> <p>○パリ協定や、国のカーボンニュートラル宣言を受け、区としても2050年までにCO2排出の実質ゼロの実現を目指す必要がある。 ○環境への取組が、政治・経済・福祉等につながる世界共通の重要な課題となった。 ○気候変動・温暖化を要因とする様々な自然災害も発生しており、環境への意識が高まっている。 ○SDGsが掲げる「一人として置き去りにしない」という精神を施策に生かすことが重要。(全分野で共通)また、環境については社会や経済の在り方とともに広く考え直す必要がある。</p>	<p>(基本的な取組の方向性)</p> <p>①環境にやさしいまちづくりが、住みやすく、快適な暮らしにつながっているまち ②気候危機によるリスクが低減され、区民の生命と健康が守られているまち ③エネルギーの地産地消や循環型社会実現に向けた取組が進んだ「質」の高い自然環境、生活環境を次世代に残していけるまち</p>	<p>(具体的な手段・方法、取組など)</p>	
		<p>○気候危機(災害や暑さ・寒さ)は、健康や生命と関わることから、そのリスクを減らすための被害軽減策を推進する。①②</p> <p>○熱中症対策としては、建物の断熱改修など、環境の視点からのアプローチを行う。①②</p> <p>○危機管理の面からのエネルギーの地産地消や蓄電、がれき撤去のためのオープンスペースの確保などを推進する。①～③</p> <p>○CO2削減に向けて、車の利用を減らしていくため、マルチモビリティステーションなど交通施策と合わせて取り組む。①③</p> <p>○安心安全な暮らしの視点から、原発に頼らない再生可能エネルギーを推進する。①③</p> <p>○食品ロスの削減及び家庭の廃油回収の取組を強化する。③</p> <p>○区民一人1日当たりのごみ排出量が少ない杉並区においては、他自治体よりもより高い目標を掲げる。③</p> <p>○みどりの質の向上を図る。③</p>	<p>○建物の断熱改修の推進。特に既存の建物を中心に進める。 →住宅の脱炭素化や熱中症対策、ヒートショックやその他疾病予防、防火対策など様々な効果が期待できる。①②</p> <p>○災害対策として、蓄電池にもなる電気自動車の更なる普及を図る。①②③</p> <p>○リユースの視点を拡充する。ベビーカーや車いすなど子育てや介護の分野が特に必要とされてくることを見据え、地域の居場所づくりと合わせたプラットフォームづくりを検討する。①③</p> <p>○リサイクルだけでなく、減らす(リデュース)にも取り組む。①③</p> <p>○電気自動車の充電スポット(太陽光発電)を増やす。①③</p> <p>○廃食用油の回収拠点を増やす。また、その廃油を活用したバイオ燃料で超低速ミニバスを走らせるなど「見える化」して、区民に広く周知し、意識の醸成を図る。①③</p> <p>○可燃ごみの約4割程度を占める生ごみの活用方法などを考える。①③</p> <p>○生物多様性の視点から、川をきれいにする取組やグリーンベルト(みどりのつながり)を推進する。①③</p> <p>○多世代が集える、みどり(自然)との共生を目指した公園の整備を図る。①③</p> <p>○森林環境譲与税を生かし、交流自治体に生物多様性が保たれた杉並の森をつくる。①③ ○杉並区の生物多様性地域戦略を策定する。①③</p> <p>○区の施設(避難所を含む)などの再生可能エネルギー100%を目指す。②③</p>
<p>目指すべきまちの姿(B欄)</p> <p>(目指すべきまちの姿)</p> <p>①環境にやさしいまちづくりが、住みやすく、快適な暮らしにつながっているまち</p> <p>②気候危機によるリスクが低減され、区民の生命と健康が守られているまち</p> <p>③エネルギーの地産地消や循環型社会実現に向けた取組が進んだ「質」の高い自然環境、生活環境を次世代に残していけるまち</p> <p>④一人一人の取組が地域だけでなく、世界を変えていけると感じられるまち</p> <p>⑤誰もが、環境への取組、自然との共生について学び、体験し、行動できるまち</p> <p>(目指すべきまちの姿を設定した考え方など)</p> <p>○気候危機は健康や生命に関わるものであり、「環境」が「健康」と結びつく。①②</p> <p>○「環境」を考えるときには、社会や経済の在り方とともに広い意味で考え直すということが必要①～③</p> <p>○環境施策と都市計画は密接につながっているものである。①～③</p> <p>○SDGsの前文に「一人として置き去りにしない」とあり、その精神は環境分野においても重要なものである。SDGsを「100年後に残したい社会」など、分かりやすい言葉にする。③④</p> <p>○みどりとの共生は重要課題③⑤</p> <p>○区民にイメージしやすく、「見える化」して、循環型社会を伝えることがグリーン社会構築につながる。④</p> <p>○地球温暖化の問題は国際的に進めていかなければならないが、その中で区の施策としてどの範囲で取り組むかを考えなければならない。また、区民一人一人がしっかりと取り組むことが必要。①～⑤</p> <p>○暮らしの持続という観点から基本構想の柱には気候危機対策が重要。「気候変動のリスク低減」「地産地消」「地域循環型社会」を基本構想の方向性で示していく。①～⑤</p> <p>○廃棄物、リサイクル、循環型社会の形成をより柔軟に考えていく必要がある。区民と区議会のイニシアティブで始まった取組を大きく育てていくという方向性を示していく。①～⑤</p>	<p>④一人一人の取組が地域だけでなく、世界を変えていけると感じられるまち ⑤誰もが、環境への取組、自然との共生について学び、体験し、行動できるまち</p>	<p>○個別の消費電力やごみの排出量などを分かりやすく見える化することで、電力削減やごみの減量への意識の醸成を図る。④⑤</p> <p>○意識の醸成や、区民の行動変容を促すために清掃工場を活用する。④⑤</p> <p>○ごみ減量のキャンペーンは、事業者の協力を得て、短期間で行うことが効果的。その中で、効果のあった事業を継続していく。④⑤</p> <p>○地域の居場所を環境対策のモデル基地とし、太陽光・風力発電、給水スポット、ごみの回収の拠点、区の補助申請の窓口等を設置する。そのための居場所づくりに区内の空家等を活用する。④⑤(①)</p> <p>○農業体験等の活動団体への支援を行う。⑤</p> <p>○環境団体への支援、自然観察会や生き物調査など多世代が学べる機会を増やす。④⑤</p> <p>○子どもの環境学習において、エネルギーの選択をさせる学習やステークホルダーを理解するためのシミュレーション学習など、基礎的な学習を取り入れる。⑤</p> <p>○世代別の環境学習を実施、充実し、区民の行動変容を促す。⑤</p> <p>○地域ぐるみでまちの美化に取り組み、コミュニティ形成の推進につなげる。④⑤</p>	
		<p>○「環境」を考えるとときには、社会や経済の在り方とともに広い意味で考え直すということが必要①～③</p> <p>○環境施策と都市計画は密接につながっているものである。①～③</p> <p>○SDGsの前文に「一人として置き去りにしない」とあり、その精神は環境分野においても重要なものである。SDGsを「100年後に残したい社会」など、分かりやすい言葉にする。③④</p> <p>○みどりとの共生は重要課題③⑤</p> <p>○区民にイメージしやすく、「見える化」して、循環型社会を伝えることがグリーン社会構築につながる。④</p> <p>○地球温暖化の問題は国際的に進めていかなければならないが、その中で区の施策としてどの範囲で取り組むかを考えなければならない。また、区民一人一人がしっかりと取り組むことが必要。①～⑤</p> <p>○暮らしの持続という観点から基本構想の柱には気候危機対策が重要。「気候変動のリスク低減」「地産地消」「地域循環型社会」を基本構想の方向性で示していく。①～⑤</p> <p>○廃棄物、リサイクル、循環型社会の形成をより柔軟に考えていく必要がある。区民と区議会のイニシアティブで始まった取組を大きく育てていくという方向性を示していく。①～⑤</p>	<p>○区民が実感を持つために、デザイン志向を取り入れた、分かりやすい、イメージしやすい周知、見える化が重要。分かりやすい情報の提供を推進する。④</p> <p>○区民の環境への配慮行動を促すため、インセンティブや規制等を有効活用する。④⑤</p> <p>○環境への取組が健康に結びつくという区民への意識づけや、身近なごみの減量、分別の意識の醸成など区民の行動を促すような取組を推進する。④⑤</p> <p>○環境対策を普段の暮らしに取り入れ、生かしていくために「若いうちから」参加でき、多世代が集まって考えることができる居場所の確保を進める。⑤</p> <p>○区民農園や農業体験等の取組を推進する。⑤</p> <p>○子どもへの教育が親に影響を与えることもある。また、環境は協力的な視点がないと進まないことから、子どものうちから環境教育に取り組む。⑤</p> <p>○小学生から環境を学ぶ仕組みを構築する。⑤</p> <p>○生物多様性に関して理解を深めるため、環境学習を推進する。⑤</p>